

ペットとともに健康に暮らすために！

定期的な健康診断で病気の早期発見を！！

かかりつけの動物病院で、大切な愛犬のために定期的な健康診断とワクチン接種により感染症を予防しましょう。

また、感染症について正しい知識を持つことも大切です。

ワクチンで予防できる感染症

- ◆犬ジステンパーウイルス感染症
- ◆犬伝染性肝炎
- ◆犬パラインフルエンザ
- ◆犬レプトスピラ感染症
- ◆犬パルボウイルス感染症
- ◆犬伝染性喉頭気管炎
- ◆犬コロナウイルス感染症



犬から人に感染する病気

例

レプトスピラ症

犬の尿に細菌が排出されます。人には口や皮膚から感染します。

パストツレラ症

犬の口の中に細菌が常在しています。人にはかまれた傷口から感染します。

犬回虫症

犬のふん便に虫卵が排出されます。食ふん行動する犬には注意が必要です。人には口から感染します。

真菌症

原因となる皮膚糸状菌はカビの一種です。犬に感染する真菌の大部分は人にも感染力を持ちます。

犬の口内やふん尿には、人にも感染する可能性のある細菌や寄生虫などが存在しています。口移しで餌を与える、布団に入れて寝るなどの濃厚な接触は避け、犬と正しい距離を保ちましょう。

また、犬に触った後は手を洗い、もしかまれたときは、すぐに傷口を流水、石けんで洗い、病院で診察を受けましょう。

避妊去勢手術について

飼っている犬の数が多くなれば、食事や散歩などの世話、ワクチン代などの医療費などが頭数に比例して増えるだけでなく、1頭で飼っている場合と違った配慮が必要になります。

望まない繁殖を防ぎ、生殖器系の病気を予防するためにも、避妊去勢手術は重要です。

避妊去勢手術をしないことにより、繁殖欲求が満たされないことがストレスになり、肉体的・精神的な病気や問題行動を引き起こすことがあります。



<避妊去勢しないことでおこるストレスによって生じやすい問題行動>

- 異常に吠える
- ケンカ
- 不適切な排泄（マーキング）
- 自傷行為等（手足をなめる、自分の尾を追いかける）
- 家を出ようとする、放浪する

京都府域の動物病院検索は **(公社)京都府獣医師会ホームページ** から

